



原小だより

～つよく 正しく 朗らかに～

12月号
令和6年(2024年)
11月26日
宇部市立原小学校



原っこを支えるPTAと地域の力に感謝

秋のたくさんの行事を、PTAや地域の皆様の力に支えていただいています。今回は「PTA」や原コミュニティアクラブの活動について紹介します。

まず「PTA」とは「Parent-Teacher Association（保護者と教職員からなる組織）」の略です。保護者と教職員が地域と協力しながら学校生活を充実させることを目的としています。原小PTAも役員さんを中心に「原小でよかった！」と子どもたちが思えることを目標に活動してくださっています。原小まつりや学年活動、広報誌づくりなど様々な場面で、保護者の方の素晴らしい企画をされる「自律」の力、快く協力される「おもしろやり」の力を感じ、感心させられるばかりです。保護者の方が見せてくださる姿は子どもたちがつくる未来の社会につながっていくと確信しています。これからも、引き続き子どもたちの笑顔と未来のために、保護者の方々の協力をよろしくお願いします。



原小まつり



親子ふれあい活動（写真は紙面の都合上一部の学年のみ掲載）

原コミュニティアクラブは、各自治体の子供会がなくなっていることから、以前あった原子連を軸としながら、子どもたちに異年齢の中でたくさんの経験をする居場所づくりを目的として2年前に立ち上がった団体です。代表は吉村佳子さんです。現在、原子ども委員会と一緒に、放課後教室、「みんなの原っぱ(学習会)」や米作り体験、通学合宿など多くの楽しい体験活動を企画してくださっています。忙しい保護者の負担にならないようにという配慮から、保護者の役員等がなく、子どもたちで自由に参加できる形を作られています。もちろん保護者のお手伝いは大歓迎です。これからも是非多くの児童が積極的に参加してほしいと思います。



原小まつり（プラ板）



稲作体験



通学合宿

先日ある場所で聴いた言葉を紹介します。

**小さな子どもたちの心には、悪い言葉もいい言葉も、
まさに砂に吸い込まれるよう水のようにしみこみます。
その水が子どもの心の幹を育てます。
（臨床心理士・金森浦子さん）**

皆様のあたたかい声かけ、いつもありがとうございます
ございます♡

